

舛添都知事の辞職決定

「都政停滞耐え難く」

東京都議会は15日午後には本会議が開かれ、舛添要一知事(67)の辞職に全会一致で同意、21日付の辞職が正式に決まった。舛添氏は本会議の最後に「これ以上都政の停滞を長引かせることは耐え難く、私が身を引くことが一番と考えた」と辞職の理由を述べた。

後任選挙、来月末にも

知事選は7月14日告示、を本格化させた。31日投票開票を軸に調整が進む見通し。7月21日告示、8月7日投票開票の可能性も開かれるリオ・ファン・ヤネロ五輪の開会式に、次期開催と、東京五輪の開会時期とらると陳謝。議会に不信



東京都議会本会議の最後にあいさつに臨む舛添要一知事=15日夜

「都政を刷新し、クリーンな知事を民進党が主体的につくり上げる」方針を確立した。都議会総務委員会の理事会は20日に予定された。争い、落選した舛添氏の字を巡る集中審議の中止を決めた。記者会見する意向は検討している」と述べた。

- 就任以来、東京を世界一の都市にするため全力を尽くしてきた
- 反省と心残りの念は尽きないが、全て自らの不徳の致すところ
- リオ五輪を控える中での選挙は次期開催都市としてふさわしくなく、避けたかった
- これ以上都政の停滞を長引かせるのは耐え難く、私が身を引くことが一番と考えた

舛添氏発言のポイント

● 就任以来、東京を世界一の都市にするため全力を尽くしてきた
● 反省と心残りの念は尽きないが、全て自らの不徳の致すところ
● リオ五輪を控える中での選挙は次期開催都市としてふさわしくなく、避けたかった
● これ以上都政の停滞を長引かせるのは耐え難く、私が身を引くことが一番と考えた

依存せぬ道は

原発は必要か

電気使用量が増える夏の首都圏で大きな変化が起きている。電」と呼ぶ。東京電力福島第一原発事故を境に、需要のピーク時に必要となる出力が約800万kwに減少しているのだ。

東電はこの数字を「定着節電」と呼ぶ。一時、逼迫した。福島事故後は全国の原発が順次停止し、発電電力量に占める原発の割合が、福島事故前は4割、自動車の大半は省エネを推進する団体から優良

東電が電力を供給する群馬県富岡市、電子機器製造を手掛ける栄光製作所は、トヨタ自動車など大企業と並んで省エネを推進する団体から優良

基本料金を決める基準となる年度比で、774億減時減の契約電力は福島事故前の109520億減時になった。政

これに対し「まだ削減する余地はある」と強調するのは環境計画研究所(東京)の会長、中上英策(71)だ。国

中上は「小さな節電の積み重ねが重要だ。すべての人が当事者意識を持つべきだ」と指摘する。中小企業や家庭で、省エネ性能の高い家電製品や設備に移行するだけでも効果が

夏の節電実績

柏崎原発の全基分減少

これは柏崎刈羽原発の全7基分に相当する。この状況を減少分は元に戻らないという生んだのは節電の効果だ。意図だ。見方を換えれば、事故後は

が厳しい時期があった。原発などの大型電源の供給力低下は、国民の節電意識を高めるきっかけになり、企業

事例として15年度の「省エネ大賞」を受賞した。製品の製造過程で使うコン

東京電力管内の夏季定着節電の実績

2012年 13 -694万kw

2016年 15 -796万kw

電力が不要になつていとも13~15年の夏季、福島事故前の10年比で平均7.02万kwの電力が節電によって削減されたというグラフ参照。災し、特に東日本の電力供給

政府は5月、電力の安定供給ができること、今夏は国での跳ね返りが強い。もう元

社長の勲使河原寛(47)は「省エネ前に戻すコスト面

東京電力管内の夏季定着節電の実績

2012年 13 -694万kw

2016年 15 -796万kw

【第2弾】本日開催

AKB48選抜総選挙ミュージアム

新進サテライト

16 thu. 13:00~20:00 18 sat. 11:00~22:00

17 fri. 11:00~20:00 19 sun. 11:00~18:00

AKB48、NGT48を除くとする、全チーム立候補者ホスター一展示

AKB48選抜総選挙ミュージアムオリジナル限定グッズを販売

AKB48選抜総選挙ウィーク

2016.6.16